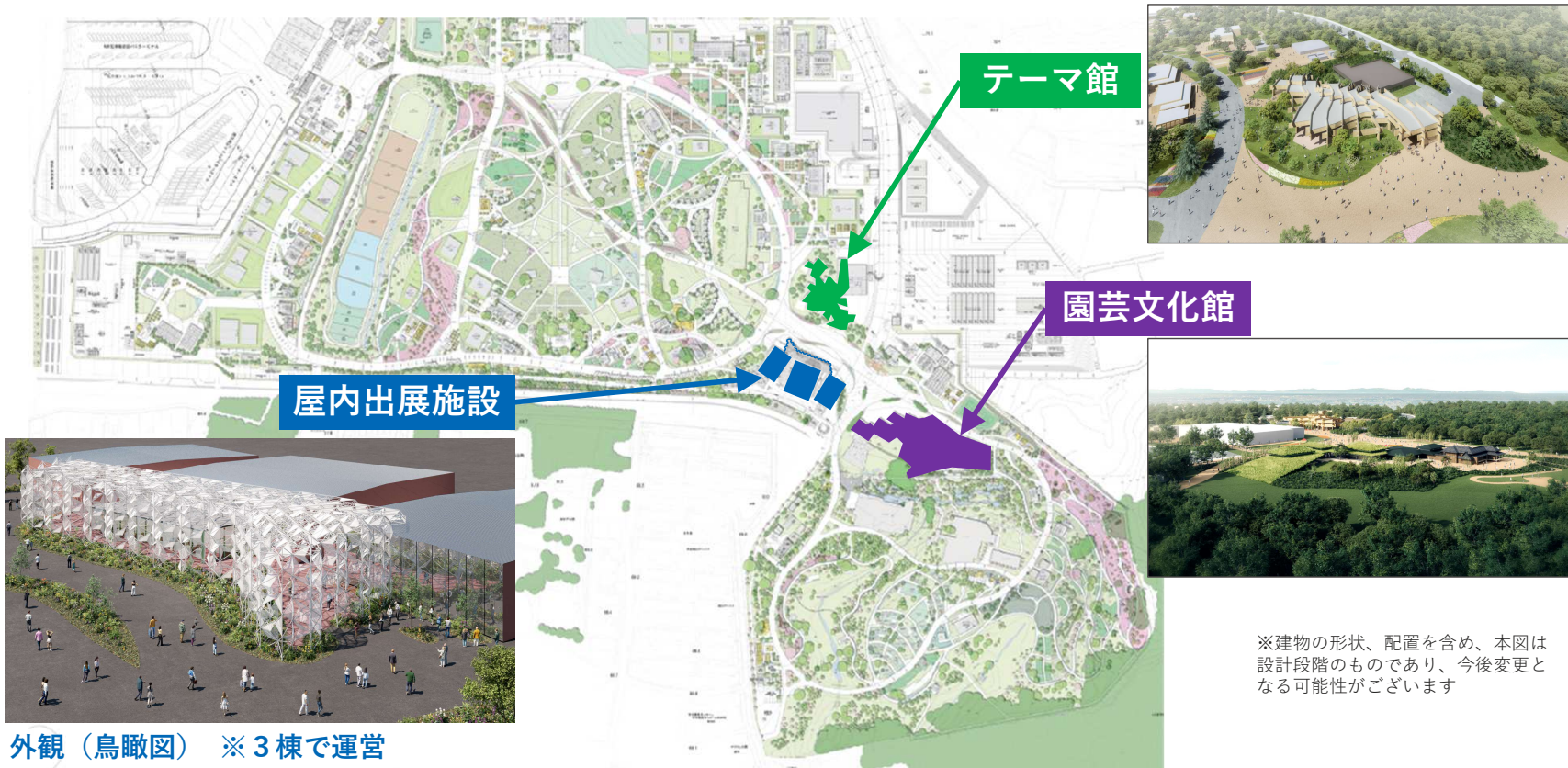


---

# GREEN×EXPO 協会の主要3施設の 展示・コンテンツ紹介について

# 会場内施設位置



※建物の形状、配置を含め、本図は設計段階のものであり、今後変更となる可能性がございます

## 外観（鳥瞰図） ※3棟で運営

※パースは設計段階のものであり、今後変更となる可能性がございます

1

主催展示施設

## テーマ館展示

主催者として、博覧会のテーマ「幸せを創る明日の風景」に対する来場者の理解を促進し、多くの人々を惹きつけ、本展示を目指して会場に足を運ぶような、圧倒的で魅力的な空間を創出する博覧会の象徴（シンボル）となる展示を展開します。

建物は国産材を活用したCLT（直交集成板）を用いることで持続可能な循環を表現し、カーボンニュートラルの実現に貢献します。植物の形には機能的な意味があるため、それに倣って植物の形態や構造等の合理性を建築に応用しました。

## 園芸文化館展示

主催者として、A1クラスの国際園芸博覧会に相応しい、日本が世界に誇る園芸文化を、江戸に花開いた伝統園芸植物を中心に紹介します。

建物は日本独自の桔木構法（はねぎこうほう）を用いながら、既存地形に沿った雁行配置（がんこうはいち）とし、屋根を緑化して大地と接続させることにより、周辺環境と調和したデザインとしています。

建築デザイン監修：建築家 隈研吾氏



（テーマ館俯瞰イメージ）



（園芸文化館俯瞰イメージ）

## テーマ館展示

展示ディレクター：アートイベントプロデューサー 杉山央 氏

新領域株式会社 CEO / Art+Tech Producer

2027年国際園芸博覧会 テーマ事業館・展示ディレクター、  
2025年大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」計画統括ディレクター、  
2026年TOKYO CREATIVE SALON 2026統括ディレクター等を務め、アートとテクノロジーを横断しながら新たな体験と空間の創造に取り組んでいる。



@LESLIE KEE

## 園芸文化館展示

植物ディレクター：新潟県立植物園顧問 倉重祐二 氏

群馬県の赤城自然園に勤務後、新潟県立植物園で園長を務めたのち退任。その後、公益社団法人日本植物園協会専務理事として、全国の植物園を結ぶ中核的役割を担った。専門はツツジ属の保全、系統進化の研究および花き園芸文化史。長年にわたるツツジ属研究への貢献により、英国王立園芸協会のローダー・ロードデンドロン・カップを受賞。日本植物園協会では「ナショナルコレクション」制度の制定・推進を通じ、日本の植物遺産の体系的保存と評価に貢献。現在は新潟県立植物園顧問および新宿御苑業務アドバイザーを務める。





1-1

テーマ館



## ～全ての生命はつながっている。植物を中心に～

地球の生物量のおよそ8割以上を占める植物。  
地球は、何億年も前から緑の惑星でした。

私たち人類は、植物から「衣・食・住」、そして「心の癒し」まで、多大な恩恵を受けて繁栄してきました。

しかし、豊かさを急ぎ追い求めたあまり、  
植物との良き関係を忘れ、今や「地球環境の限界」に直面しています。

テーマ館展示は、最新の科学的な知見・研究成果をベースに、アート&エンターテイメントを掛け合わせて演出、感動をお届けしながらNature based Solutionsを体感していただき、意識変容・行動変容のきっかけとなる、展示体験を創出します。



テーマ館展示では、数か所にトゥクトゥクが顔を覗かせ、来場者の皆様を感動の世界へお連れします

## 『根と菌類が共生する菌糸ネットワークの広がりを光で包む』

ミストの煙が漂う神秘的な空間、その根を起点に光のショーが始まり、  
**根を覆う菌糸のネットワークがスペース全体に広がり観客も包み込んでいきます。**  
その中心に鎮座するのは、、陸前高田市の“奇跡の一本松”の実物の根。



## 『植物とほかの生きものたちのコミュニケーション、 “見えないメッセージ”を可視化する』

植物たちは、どんな「秘密の方法」で、他の生きものとコミュニケーションをとっているのか、驚きの映像とともに紹介します。見慣れているはずの森が、生きものたちの目線で表現すると、全く違う風景に見えてきます。

また、**強烈な匂いを放つラフレシアの匂いも体感展示！**

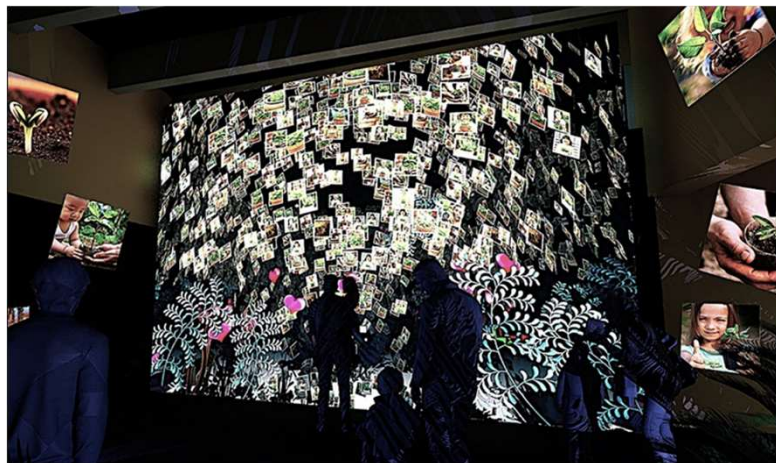


最近の研究では、植物も音を聞き、光を感じ、匂いも感じている、そんなふるまいをしていることがわかってきました。人間の感覚器官や時間感覚と比較しながら**アニメーションと特殊撮影映像**でわかりやすく解説します。

## 『植物とひとの関係を見つめなおす —ひとの生命もつながっている。植物を中心に—

私たち人間は、様々な植物の恵みを受けて、いのちをつなげてきました。しかし今、人間の営みが**地球環境の限界**にまで迫りやっています。

森林の再生や、天然資源の循環利用など、**自然の力による課題解決**の先端事例を紹介し、地球環境を守るために必要な、植物と人間の新しい関係を見つめます。



来館者がテーマ館で配布する  
シードペーパー®を育て、写真を投稿すると、『きぼうの樹』に映し出されます。

参加型の展示で、  
『**私たちが植物と向き合う体験**』をご提供  
します。



シードペーパー®

※シードペーパー®は、SOUP Inc. (有限会社スープ) の登録商標です

# テーマ館：シードペーパー®について



『シードペーパー®』とはオフィスや店舗などから排出される古紙を原料に植物の種を漉きこんだ再生紙です。

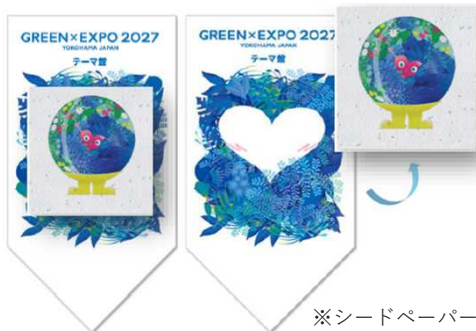
GREEN×EXPO2027では、出展参加する企業・団体から古紙をご提供頂きオリジナルのシードペーパーを作ります。

回収された古紙を原料に和紙の紙漉き職人が、丁寧に種を漉きこみます。出来上がった紙に印刷しカットするのは障害のある方々のワークショップ。

ゴミであった古紙を再生し、伝統工芸の事業継承と障害のある方々の自立支援につなげ、最後に花を咲かせ土に還す…  
地球環境と社会の中で持続可能な循環を生み出すための新しいチャレンジです。

## ● GREEN x EXPO 2027オリジナル『シードペーパー』セット

GREEN x EXPO2027のためにデザインされたオリジナル『シードペーパー』セット。植物の種がすきこまれたシードペーパー本体、シードペーパーの育て方や投稿キャンペーンの参加方法を掲載した台紙が1セットとなります。



※シードペーパー®は、SOUP Inc. (有限会社スープ) の登録商標です

『シードペーパー®』を育てて  
GREEN×EXPO 2027に  
参加しよう!



GREEN×EXPO 2027では、出展企業・団体から提供された古紙で、花の咲く紙、シードペーパーを作りました。和紙職人がていねいに植物の種をすきこみ、障がいのある方々の福祉施設で印刷しました。



あなたの写真が  
テーマ館のシンボルツリーに成長します!

育てた植物の写真を投稿すると、シンボルツリーに映し出されます。投稿写真が多いほど、豊かな樹に育っていきます。成長過程を何度も投稿してください。

投稿フォームに  
関しては夏頃公開予定!

## ●育て方イメージ





1-2

園芸文化館



## ～日本の園芸文化を知り・感じ・未来につなぐ～

園芸文化とは、植物を育てることを通して自然と向き合い、美しさや価値を見出し、暮らしの中に息づいてきた日本の文化です。

園芸文化館では、江戸時代から受け継がれてきた日本独自の園芸の美意識と技術を、実物や体験を通して伝えます。自然との共生や地域とのつながり、心の豊かさを改めて見つめ直し、その文化を未来へとつなぎます。

### 伝統園芸植物をこれまでにない規模で一堂に展示

江戸時代から受け継がれてきた伝統園芸植物や盆栽などが集結。植物の「芸」と「美」、育種の「技」が息づく数々の園芸品種に出会えます。

### 江戸から続く、暮らしの中の園芸文化を紹介

江戸の植木屋の暮らしや年中行事と植物の関わりを再現。映像・資料で伝えます。

### 園芸文化の世界への発信と、未来への継承

国際都市・横浜から日本の園芸文化を世界へ発信。若い担い手とともに次世代へつなぎます。



日本を代表する園芸団体・愛好家の協力により、  
江戸時代から現代に受け継がれてきた伝統園芸植物や盆栽が集結。



盆栽(黒松)



万年青



雪割草



長生蘭



椿



牡丹



細辛



紫陽花



撫子



花菖蒲



変化朝顔



百両金

盆栽をはじめ、多種多様な伝統園芸植物を展示予定。

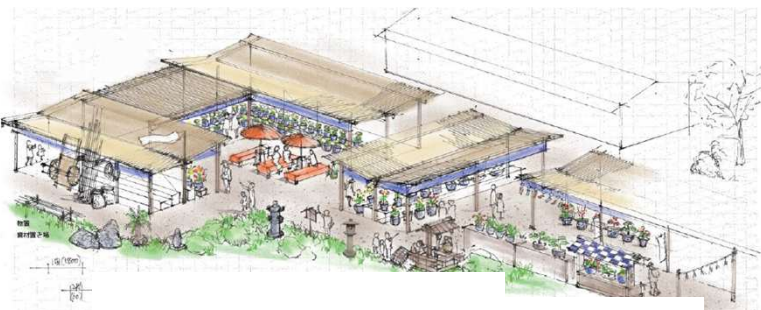
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
万年青(オモト)	桜草(サクラソウ)	富貴蘭(フウキラン)	変化葉瓦葺 (ヘンカバノキシノブ)	朝顔(アサガオ)	変化朝顔 (ヘンカアサガオ)	南天(ナンテン)
春蘭(シュンラン)	花桃(ハナモモ)	楓(カエデ)	花菖蒲(ハナショウブ)	巻柏(イワヒバ)	蓮(ハス)	万両(マンリョウ)
長生蘭(チョウセイラン)	牡丹(ボタン)	細辛(サイシン)	葉蘭(ハラン)			松葉蘭(マツバラン)
君子蘭(クンシラン)	芍薬(シャクヤク)	撫子(ナデシコ)	石菖(ツツブキ)			百両金(カラタチバナ)
雪割草(ユキワリソウ)	躑躅(ツツジ)	早月(サツキ)	石菖(セキショウ)			紫金牛(ヤブコウジ)
椿(ツバキ)	桜(サクラ)	紫陽花(アジサイ)	斑入り植物			菊(キク)
木瓜(ボケ)	藤(フジ)					

※現在、展示物については各団体等へ協力依頼を行っています。

# 園芸文化館：江戸時代のテーマパーク、植木屋「花屋敷」を再現

世界に先駆け園芸が産業化した江戸時代の植木屋「花屋敷」の世界を再現します。

花屋敷は、身分の隔てなく自然や花を楽しむ憩いの場として親しまれた江戸時代のテーマパーク、当時の雰囲気を楽しめる来場者に体感いただきます。



江戸時代の花屋敷の雰囲気を再現するセット



のとクリシマツツジ

協力：NPO法人のとクリシマツツジの郷



能登地方に江戸時代から今も継承されるクリシマツツジの園芸品種。

古くから能登地方の人たちに親しまれてきた「のとクリシマツツジ」の大株を被災地より受け継ぎ、花屋敷で展示します。

映像シアターで、日本の豊かな自然、美意識と世界観、花きや園芸文化の発展、海外との園芸文化や植物の交易、持続可能な未来を発信



徳川三代将軍家光公遺愛の五葉松 協力：東京都立園芸高等学校



東京都立園芸高等学校では「三代さん」と呼ばれる徳川三代将軍・家光遺愛の五葉松を長年に渡って管理・育成。

「三代さん」とともに、江戸時代から受け継がれた伝統の盆栽を未来へ継承する都立園芸高校の学生の取組を紹介。

# テーマ館・園芸文化館 Webサイトの開設

テーマ館・園芸文化館について最新情報の発信を行うウェブサイトを開設しました。  
GREEN×EXPO協会の公式ウェブサイトからもアクセスできます。  
ぜひチェックしてください！

<https://themedpavilion.expo2027yokohama.or.jp/>



「インサイド・ヒーローズ」のコーナーでは、展示ディレクター杉山 央氏のインタビューを掲載中



<https://horticulturalpavilion.expo2027yokohama.or.jp>



展示の見どころなど順次情報を発信します！

2

屋内出展施設

# 屋内出展施設について

屋内出展施設は博覧会会場の東エリアと西エリアをつなぐシンボルゾーン内に整備される屋内出展専用の施設です。本施設には国内外からの250を超える出展者が多種多様な展示を行い会期を彩ります。2020年ドバイ万博日本館、2025年大阪・関西万博ウーマンズパビリオンで使用された構造材をリユースし、GREEN×EXPO 2027が掲げる「GREENサーキュラー建築」の実現を目指します。



【画像提供】永山祐子建築設計

外観（来場者入口側より）

## 規模

約3,200㎡（3棟の合計）  
※会場内最大規模

## 出展者

公式参加者（外国政府・国際機関）  
（192日間）20者程度  
花・緑出展者（2026年3月19日時点）  
全期間（192日間）21者  
短期間（9日間）216者

※「花・緑出展者」とは本博覧会において、庭園作品、花壇、植物アート、生産品（花き・植木など）を展示する企業・団体・個人・自治体などを指します。

## 展示の特徴

光が差し込む半屋外ファサードスペースで来場者をお迎えし、これから始まる体験への期待感を高めます。開幕から閉幕までの期間を通して国内外からの多様な花と緑で彩られた出展をお楽しみいただけます。9日間ごとに企業や団体、個人、自治体などによるさまざまな展示が入れ替わり、新しい魅力に出会えます。

## イベントスペース

暮らしを彩るグリーンや、つくり手の想いが詰まった商品を紹介します。見るだけでは終わらない“**体験**”など、賑わいあふれる空間をご用意しています。世界中から訪れる皆さまに、季節の移ろいや、新しい発見・体験をしていただき、「訪れるたびに新たな感動」をお届けします。



【画像提供】永山祐子建築設計

半屋外ファサードスペース



【画像提供】永山祐子建築設計

屋内出展施設内部



【画像提供】永山祐子建築設計

イベントスペース内部

※パースは設計段階のものであり、今後変更となる可能性がございます。 19

【2027年3月出展予定】

公益財団法人 日本いけばな芸術協会



提供元：公益財団法人 日本いけばな芸術協会

自然の持つ美しさや個性、作家の思いをこめた  
「いけばな」芸術の神髄を表現

【2027年4月出展予定】

一般社団法人 JFTD花キューピット



提供元：一般社団法人 JFTD花キューピット

2027 JAPAN CUP 他、花の魅力を世界へ  
GREEN×EXPO 2027（横浜）から 花の魅力を発信 20

【2027年5月・7月出展予定】

株式会社 サカタのタネ



（5月展示イメージ） 提供元：株式会社 サカタのタネ

植物の始まりといえるタネの不思議や面白さ、タネから育てる植物の魅力をお伝えします。新品種の展示などを通じて未来を提案するとともに、植物と人を繋ぐアイデアも提供します。

【全期間出展予定】

岐阜県



提供元：岐阜県

飛騨合掌造りをモチーフとした茶室や茶庭、水の流れ等で自然豊かな岐阜を表現

